授業科目名 <英訳>	インド古典学(演習) Indological Studies (Seminars)	担当者氏名	文学研究科　教授　横地　優子 文学研究科　准教授　ACHARYA, Diwakar Nat 人文科学研究所 教授　藤井　正人 文学研究科　特定外国語担当教授　VASUDEVA, Somdev

配当学年	3回生以上	単位数	4	開講期	通年	曜時限	火1	授業形態	演習

題目	インド学・サンスクリット学の諸問題（論文指導）

[授業の概要・目的]

インド学・サンスクリット学の分野における論文作成の技術を基礎から学び、自らテーマを選んで、資料を集め、分析し、その成果を発表する、さらに討論の場で批判を受けるといった訓練を重ねることで、本格的な論文を作成するためのノウハウを身につける。

[授業計画と内容]

論文の作成法について指導するとともに、学生各自が選んだテーマについて、毎回研究発表を行ってもらう。当該年度の卒論、修論提出予定者には、それぞれの論文にかかわるテーマやテキストに関する発表を行ってもらう。それ以外の学部生、院生は、それぞれの関心に従って、各自の研究発表を行ってもよいし、また近年に発表された重要論文についての研究発表を行ってもよい。例年、各学生には、２～３回程度の発表の機会が与えられる。

[履修要件]

インド古典学専修の学生であること（インド学に関連する分野の研究を行っている他専修の学生も履修可）。

[成績評価の方法・基準]

平常点（発表と討論への参加度により総合的に判断する）。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
特になし

（その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等））

自分の発表のときだけではなく、他者の発表のときにも必ず出席し、質問、討論に参加することが要求される。

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。